

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 シェルパ	代表者	石川 洋一	法人・事業所の特徴	「お客様の希望をカタチに」をモットーに、ご利用者様1人1人に合ったケアを心掛け、「自分らしい」生活が出来るように支援をしています。
事業所名	ぼやあ樹松本町	管理者	池田 愛子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	3人	3人	1人	人	9人	人	19人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	家族や利用者様からの信頼関係を築くために、スタッフ一人一人が接遇・マナーの向上に努める	スタッフ間での情報共有として定期的なミーティングを実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携に関して今後も頑張っ てほしい。</li> <li>・事業所全体で関りを持つ体制が 取れていると思う。</li> </ul>	引き続き定期的なミーティングを実施。地域連携を強化していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	常に地域の方に見られていることを念頭におき、事業所内の整理整頓・環境美化を行う	明るい空間作りを意識した。レク道具が多いため整理整頓が課題。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかくだからいい取り組みを しているのだから活動内容や詳しい サービス内容を外に向けて掲示し てはどうか。</li> <li>・物を元に戻す習慣をつけたい。</li> </ul>	整理整頓を行い、居心地の良い空間作りの徹底。外観の工夫をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所内でのイベントだけでなく、地域の祭りや行事にも積極的に参加していきたい	地域の方に気軽に声をかけて頂けるような事業所を目指し活動した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方と話をする機会が増え た。</li> </ul>	引き続き気軽に声をかけていた だけのような事業所を目指し活 動していく。地域への発信を引き 続き行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域資源を活用しながら、最期まで、その人らしい生活ができるように支援を行う	ご利用者様の利用状況等のタイミングが合わず、イベント等の参加は出来なかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も参加できるイベントには ぜひ参加してほしい。</li> </ul>	できる限りイベントに参加し、ご 利用者様と地域を繋げていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後はオンラインでの開催も視野に入れ、家族様・関係機関に案内をする	運営推進会議で頂いた意見を運営に活かせるよう努めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでの参加ができる といい。</li> </ul>	参加方法の選択肢を増やす。より 充実した内容になるよう工夫し ていく。
F. 事業所の防災・災害対策	災害に備え、事業所内の家具の転倒を防ぎ避難導線の確保を確実に 行う	スタッフ間での共有は行っていたが、周知ができていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会でも防災訓練をしている ので、防災面で連携できればいい かと思う。</li> <li>・地域の拠点として使わせてほし い。</li> </ul>	防災・防犯面で周りへの発信を強 化していく。